

視聴票（2）あなたはどのように社会の役に立てるか？①②

第3回のまとめ（約400字）

「社会参加＝社会の役に立つこと」を、自分の好きなことから考える、というものだった。あんずさんは、最初は「自分が社会の役に立つ必要があるとは思わない」と言っていたが、大好きな読書をきっかけに「図書館を利用する人のために、メジャーではない本を紹介したい」という課題を立てる。学校図書室に手作りの宣伝文を置いても、誰にも読まれず失敗し、図書館の読み聞かせボランティアに応募したときも「そんなに簡単に参加できない、事前の勉強が必要」と断られてしまう。それでも「自分がおもしろいと思う本を誰かに紹介したい」という思いを支えに、課題や調べ方を何度も見直し、最終的には子ども向け読み聞かせボランティアという社会参加にたどり着いた。番組では、阪神・淡路大震災をきっかけに広がったボランティアの歴史や、参加条件・研修が必要な活動もあることが紹介され、「人の役に立ちたい」という気持ちだけではなく、準備と責任も大切だと学んだ。

課題設定シート 回答例

例1

- ①わたしの課題：わたしなら近所の子どもたちのために、学校の図書室で読み聞かせのお手伝いをやりたい。
②調べること・方法：
調べること：図書室で生徒ボランティアを募集しているか、どんな本が人気か。
調べる方法：司書の先生に直接聞き、学校の掲示も確認する。
③考察・新たな課題：生徒の手伝いでもできることは案外多いと分かった。次は、自分が好きな本だけでなく「低学年にも分かりやすい本」を選ぶコツを調べたい。

例2

- ①わたしの課題：わたしなら地域の高齢者のために、買い物や外出を助けるボランティアをやりたい。
②調べること・方法：
調べること：高校生が参加できる見守り・買い物支援ボランティアの有無と条件。
調べる方法：市役所の福祉担当課や社会福祉協議会に電話で問い合わせる。
③考察・新たな課題：安全面の理由で高校生だけの参加は難しい場合もあると知った。次は、「家の周りで自分にできる見守りや声かけのしかた」を考えてみたい。

例3

- ①わたしの課題：わたしなら通学路を使う人たちのために、ゴミ拾いとマナー啓発をやりたい。
②調べること・方法：
調べること：通学路の清掃活動がすでにあるか、勝手にやってよい場所か。
調べる方法：学校の先生と、地域の自治会長さんに確認する。
③考察・新たな課題：「よかれと思ってやっても、危ない場所ではダメ」ということに気づいた。次は、清掃活動に参加する時の服装やルールを調べて準備したい。

例4

①わたしの課題：わたしなら 動物が好きな人やペットのために、保護猫・保護犬活動を知つてもらう手伝いをやりたい。

②調べること・方法：

調べること：高校生が参加できる動物保護団体と、その活動内容。

調べる方法：[地域名+保護猫 高校生 ボランティア] などで検索し、団体のサイトや SNS を見る。

③考察・新たな課題：かわいいだけでなく、命を預かる責任が大きいことが分かった。次は、「実際に見学だけさせてもらえる機会」がないかを問い合わせてみたい。

例 5

①わたしの課題：わたしなら 部活の経験を生かして、地域の子どもスポーツ教室の手伝いをやりたい。

②調べること・方法：

調べること：自分の競技の教室があるか、高校生コーチを受け入れているか。

調べる方法：市の体育館やスポーツセンターに電話で問い合わせる。

③考察・新たな課題：指導をするには技術だけでなく、安全管理や声かけも重要だと分かった。次は、顧問の先生に「教えるときに気をつけていること」をインタビューしたい。

例 6

①わたしの課題：困っている外国人観光客のために、簡単な案内や翻訳アプリのサポートをやりたい。

②調べること・方法：

調べること：観光案内ボランティアで高校生ができる仕事と必要な語学力。

調べる方法：観光協会の HP を見たり、英語の先生に相談したりする。

③考察・新たな課題：完璧な英語力より、「笑顔と簡単なフレーズ+翻訳アプリ」で助けになれる場面もあると分かった。次は、よく使う案内フレーズをリスト化して練習したい。

例 7

①わたしの課題：わたしなら 同世代の居場所が少ない地域のために、中高生向けの読書会やボードゲーム会を開いてみたい。

②調べること・方法：

調べること：学校や公民館で、学生主催のイベントを開けるかどうか。

調べる方法：生徒会担当の先生や、公民館職員さんに相談する。

③考察・新たな課題：場所や保険の問題など、思ったより準備が必要だと分かった。次は、小さく「同級生数人だけ」で試して、どんな雰囲気になるかを確かめたい。

例 8

①わたしの課題：わたしなら 障害のある人や高齢者のために、点字や手話を学んで、簡単なコミュニケーションの橋渡しをやりたい。

②調べること・方法：

調べること：初心者向けの点字・手話講座と、参加条件。

調べる方法：市役所の福祉課や社会福祉協議会のサイトで講座情報を探す。

③考察・新たな課題：一度講座に出ただけで「分かったつもり」になるのは危険だと分かった。次は、継続して学ぶためのサークルやオンライン教材も調べたい。

例 9

①わたしの課題：わたしなら 災害が起きたとき地域の役に立つために、防災知識を学び、家族や友達に広める活動をやりたい。

②調べること・方法：

調べること：地域のハザードマップや避難所、防災講習の有無。

調べる方法：市役所の防災担当部署の HP を見るほか、学校で配られている資料を確認する。

③考察・新たな課題：

「平常時から準備しておくこと」が社会参加につながると気づいた。次は、クラスで簡単な防災クイズや掲示物を作る案を考えたい。

例 10

①わたしの課題：わたしなら 同じ学校の生徒のために、制服や教科書を譲り合う“リユースコーナー”づくりをやりたい。

②調べること・方法：

調べること：学校で物品の譲渡を行うルールや、保護者会の協力の得方。

調べる方法：生徒会の先生や事務室に相談し、他校の事例もネットで調べる。

③考察・新たな課題：「お金を取らないやり方」や「トラブルを防ぐルールづくり」が必要だと分かった。次は、アンケートでニーズを調べ、本当に必要とされているかを確かめたい。

第4回のまとめ（約400字）

「社会参加」をテーマに、動物と自然が大好きなこっちゃんの探究が紹介された。こっちゃんは「自分は社会の役にはぜんぜん立てない」と感じていたが、「人または動物のために、緑を増やすことをやりたい」という課題を立てる。まず学校の先生に相談し、市役所の緑化担当に取材して「ボランティア」というキーワードを発見。さらに地域の自然保護ボランティアの活動に、実際に参加するところまで踏み出していく。スマホを持っていないこっちゃんは、先生や先輩を頼って連絡を取り、ネット検索だけでは得られない具体的な情報を手に入れた。ワンポイント解説では、市役所にあるさまざまな部署と仕事が紹介され、地域のことを調べるには担当課に直接問い合わせる方法が有効だと説明されている。また、情報を調べるときは「最適な方法を選ぶこと」と「困ったら人に頼ること」が大事だと示され、面識のない人にも思い切ってコンタクトを取ることで、新しい社会参加のチャンスが生まれると伝えていた

課題設定シート 回答例

例 1

①わたしの課題：わたしなら 町に住む人と動物のために、地域の公園の花壇づくりボランティアをやりたい。

②調べること・方法：

調べること：花壇の管理をしている団体と、高校生の参加条件。

調べる方法：市役所の公園担当課に電話し、公園の掲示物も確認する。

③考察・新たな課題：花の種類や水やりの当番など、長期的な関わりが必要だと分かった。次は、季節ごとに育てやすい花を調べ、年間計画を作ってみたい。

例 2

①わたしの課題：わたしなら 川の生き物と地域の人のために、河川清掃や生き物調査に参加したい。

②調べること・方法：

調べること：地域の河川清掃や水質調査をしている団体。

調べる方法：[地域名+川+ボランティア]で検索し、環境課やNPOに問い合わせる。

③考察・新たな課題：ゴミ拾いだけでなく、水質や生物多様性も調べている団体があると知った。次は、生物調査に必要な道具や、安全上の注意点を詳しく調べたい。

例3

①わたしの課題：わたしなら学校周辺に住む人のために、通学路の植栽や街路樹の様子を観察して、市役所に報告したい。

②調べること・方法：

調べること：街路樹の剪定や管理を担当している市役所の部署。

調べる方法：市役所の建設部または生活環境部に電話し、相談窓口を教えてもらう。

③考察・新たな課題：倒木や枝折れは危険につながるので、早めに知らせることも社会参加だと気づいた。次は、クラスで「危険箇所マップ」を作る活動も検討したい。

例4

①わたしの課題：わたしなら地域のこどもたちのために、自然体験イベントのお手伝いをやりたい。

②調べること・方法：

調べること：里山体験や自然観察会を開いている団体と、高校生ボランティアの募集状況。

調べる方法：環境NPOや公民館のHP、学校に配布されるチラシをチェックする。

③考察・新たな課題：子どもと一緒に活動するには、危険な場所の見分け方や注意の声かけが重要だと分かった。次は、指導者講習会のような学びの機会があるか調べたい。

例5

①わたしの課題：わたしなら町の景観と環境のために、ポイ捨て防止ポスターやSNS発信をやりたい。

②調べること・方法：

調べること：市が行っている環境キャンペーンや標語募集。

調べる方法：市役所生活環境部の広報や、市の公式SNSを調べる。

③考察・新たな課題：ただ注意するより、「ちょっとクスッとするポスター」の方が心に残ることに気づいた。

次は、他の自治体のユニークなポスター事例を集めて参考にしたい。

例6

①わたしの課題：わたしなら学校と地域のために、生徒会として市役所の企画部に取材し、町の課題を聞いてみたい。

②調べること・方法：

調べること：高校生との意見交換会や市長との懇談会があるか。

調べる方法：市役所の広報紙やHPを見て、企画部または広報担当にメールする。

③考察・新たな課題：町の将来について、高校生の意見を求めている場が意外とあると分かった。次は、友達と一緒に「自分たちの町の好きなところ・困っているところ」を整理してから取材に行きたい。

例7

①わたしの課題：わたしなら動物と人が安心して暮らすために、野良猫へのエサやりマナー啓発をやりたい。

②調べること・方法：

調べること：地域の「地域猫活動」や、保健所・市役所の対応。

調べる方法：市役所の生活環境部や保健所に電話で相談し、資料をもらう。

③考察・新たな課題：「かわいそだから」という気持ちだけでは、かえって近所迷惑になる場合もあると知った。次は、地域猫活動のルールを学び、誤解を生まない伝え方を考えたい。

例8

①わたしの課題：わたしなら 自然災害の多い地域のために、避難所運営ボランティアについて学びたい。

②調べること・方法：

調べること：市の防災訓練や高校生向け防災リーダー講座。

調べる方法：防災担当課に電話し、訓練や講座の日程を教えてもらう。

③考察・新たな課題：

避難所は「被災者の生活の場」であり、プライバシーや衛生など多くの配慮が必要だと分かった。次は、実際の訓練に参加し、現場の様子を体験してみたい。

例9

①わたしの課題：わたしなら 森林や山のために、間伐や植林体験に参加して、森林保全の仕組みを学びたい。

②調べること・方法：

調べること：高校生が参加できる森林ボランティアと保険・装備の条件。

調べる方法：県や市の林業関係部署、森林ボランティア団体のHPで募集情報を探す。

③考察・新たな課題：

森を守るには長い年月がかかること、チェーンソーなど危険な作業は専門家が行うことを知った。次は、自分たち高校生でも安全にできる活動メニューを詳しく調べたい。

例10

①わたしの課題：わたしなら 学校に通うみんなのために、「エコな学校生活」のアイデアを集めて生徒会に提案したい。

②調べること・方法：

調べること：他校で行われているゴミ削減・節電・リサイクルの取り組み。

調べる方法：ネット検索で事例を集めるとともに、市の環境課に学校との連携例がないか聞く。

③考察・新たな課題：

一人の努力だけでなく、学校全体のルールや仕組みを変えることも社会参加だと気づいた。次は、クラスで簡単なアンケートを取り、「みんなが無理なくできるエコ行動」を整理したい。